

いじめが起きにくい 学校づくりを求める

12月市議会で質問

足立区を参考に子どもの 主体的な取り組みの強化を

市は、いじめ防止に、生徒の行動観察や定期的なアンケート等で早期発見・早期対応に努め、情報の共有化を図り、学校体制で取り組んでいます。



足立区は子ども がパトロール

(金子) 足立区の小学校では子どもたちが主体的なパトロールをすることはいじめ防止に効果を上げている。

市内の中学校で暴力事件があったり、学校が荒れている状況が出ています。12月市議会の一般質問でいじめが起きにくい学校づくりや通学路の安全対策を求めました。

全国でいじめ認知18万件最多

文科省は昨年10月、全国の小中高、特別支援学校を対象とした2013年度の「児童生徒いじめ問題行動調査」を発表。13年度全体のいじめ認知件数は18万5860件、昨年より減

るいじめが全体の35%を占め「叩かれる、蹴られる」などの身体への暴力が全体の15%と

少しですが依然高い水準としました。市川市でいじめ認知は507件。言葉によるパソコンや携帯電話、スマートフォンなどを使った誹謗中傷するい

市内の不審者情報は昨年4月～10月まで136件と増加。「子どもが犯罪に巻き込まれないため、地域や大人が子どもたちを見守ることの重要性から通学

通学路の 安全対策

学校ごとの安全マップ の作成が必要と提案

参考にするべきと質問。(学校教育部長) 足立区の小学校では、毎日15分の休み時間に約20名から30名の児童が一つの班となり全児童の半数近くが校内をパトロール。トラブルを見たら事情を聞き仲裁、先生に報告するなどいじめが起きにくい環境となり、現在ではいじめ認知件数がゼロとなっている。児童生徒が主体的にいじめ防止に取り組むことは、子ども自身に意識を高める効果的な取り組みの一つと認識しています。

いじめのない学校と社会を

日本共産党の提案から (2012年11月28日)

- 命優先⇒いじめ対応をぜったいに後まわしにしない
- 情報⇒すぐ全教職員・保護者に知らせ連携
- 子ども⇒いじめを止める人間関係をつくる
- 対応⇒安全確保、いじめなくなるまで対応
- 遺族⇒いじめの真相を知る権利を尊重する
- 教育⇒教員のエンパワメント(多忙化解消など…)
- 拠点⇒「いじめ防止センター」(仮称)の設立
- 子どもの安全に生きる権利の保障等

安全マップは 有効な取り組み

学校教育部長は、「子どもたちが安全マップづくりを通して、地域の危険箇所や事故多発地域を認識し、危険予測や危険回避能力を育成することは、子ども

路の安全マップ作り等によつて子どもたちの安全を確保するべきではないか」と質問。ものの安全を守るための有効な取り組みであると考えている。今後安全マップ作りも含めて、子どもの安全確保のため、学校と地域との協力を図りながら取り組んでいく」と答弁。

(金子) 「文科省も学校の危機管理マニュアルを出している。先生

だけの対応では限界がある。各学校に学校警備員の配置を予算化するよう」要望しました。



市議会の役割・活動



市長は市民の要望を政策として具体的に予算化したり、条例を制定するため議案を提出。議会は提案説明を

聞いてきめ細かく審議し決定。市長は、議会の決定に基づいて事業を進めます。市議会は議決機関、市長は執行機関と呼ばれ、両者の権限、役割は明確に区分され、市政発展のために活動しています。

平成23年5月臨時～26年12月市議会

【市川市議会での議員の発言回数】

議案質疑・一般質問で金子貞作議員が32回で、市議の発言回数では一番です。

【議員の条例案・修正案提出】

共産党が提出者になった条例・修正案は、国保税の減免、住宅リフォーム助成、介護保険料の減額など5つ、会派一番です。

【国への意見書・決議】

共産党が提出者になったのは96意見書・決議。安倍政権の暴走ストップなどの意見書が多数です。

※議会事務局にお願いした資料から計算。



道路交通部長に写真を示し説明



道路舗装が壊れている（宮久保6丁目）



雨ですぐ冠水する歩道（稲越町）

北東部地域の生活道路改善を要望

金子市議は、曾谷・宮久保・大柏の共産党支部長といつしよに1月21日、市長に北東部の生活道路などの改善の要望書を提出。道路交通部長と次長が応対し、支部は改善要望の内容について、現場写真を示し丁寧に説明。全部で32項目あります。これらは、昨年の市政アンケートで市民から寄せられた要望を現地調査し、まとめたものです。



歩道が途中で植栽になっている場所（大町、松飛台駅近く）

無料法律相談会

【相談日】 【担当弁護士】

※午後2時から5時

2月5日（木） 藤野善夫

3月6日（金） 安井飛鳥

4月3日（金） 高橋 勲

【場所】

市川市役所共産党控室（4階）
相談を受けたい方は事前の予約が必要です。党市議か市役所（電話334-1111）共産党控室へご連絡ください。

政務活動費、切手の大量購入などで市長も外部監査導入



切手の大量購入や市内視察などで2つの百条特別委員会を設置した市川市議会。市長も議会に先行して個別外部監査を導入。1月22日契約、相手方は公認会計士の菅田裕之氏。期間は2日、同年3月25日。契約金額は900万円が上限です。平成23年度から平成25年度まで各会派に支出された政務活動費のうち、切手の購入に係る経費、備品購入費、市内視察に係る経費、会報の作成にかかる経費を規則等に照らし適正に使用されているか監査します。市議会も監査委員会の継続性、専門家による独立した調査も必要と、市長の外部監査を承認しました。

編集後記

▼政務活動費による切手の大量購入などで百条委員会が設置された市川市。NHKやマスコミも報道し、市民からどうなっていると聞かれ、関心が高まっています。外部監査で市長がどこまで明らかにできるのか。また、市議会も自浄能力が問われる▼共産党市議団の政務活動費の支出は、市政アンケートの配布と集計、議会報告二一の発行、資料購入費で8割以上を占め、疑惑を持たれるような支出はありません。

お気軽に相談を

仕事
くらの
悩み

連絡先 金子貞作 337-6184（夜間）